

Port of Hachinohe

No. 12
Mar 2004

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港セミナー開催
- 高雄港レポート
- 第2回八戸地域洋上風力発電研究会開催
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 好調な2003年の食品輸出
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター



講演の様子



市長あいさつ



熱心に聞き入る出席者



情報・交換会の様子

「八戸港セミナー」開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、去る2月18日、八戸パークホテルにおいて「八戸港セミナー」を開催しました。荷主・物流関係者など港湾関連の企業の皆様およそ120名が参加しました。

セミナーでは、株式会社地域開発研究所 主任研究員 栃木晃氏より「国際コンテナ物流の動向と日本の港湾」と題して講演があり、急成長する中国を中心とした国際コンテナ物流の動向、スーパー中枢港湾の設置や循環資源の扱いといった日本港湾の取り組みを紹介した後、八戸港発展へのアドバイスとして「航路拡充、地元農産品・リサイクル資源の取扱拡大」を挙げました。

その後、青森県港湾空港課横山副参事より、八戸港概要説明として充実したソフト事業等について説明が行われました。さらに、情報交換会では、八戸市誘致企業も合流し、活発な交流が行われ、盛会裏に終わりました。このセミナーを機に八戸港利用者の拡大が期待されます。

前号に引き続き、昨年11月に実施した「八戸港東南アジアコンテナ航路交流ミッション2003」で視察を行った高雄港をご紹介します。

高雄港は、港区面積26.8km²、埠頭の総延長26.6km、埠頭数118（うちコンテナ埠頭26）、浮き係留（30,000トン以下の停泊可）22、コンテナヤードの全面積は293.5haです。蔵置能力は116,500TEUで、ほぼ、神戸港のコンテナ埠頭の蔵置能力と匹敵します。

政府は、高雄港がアジア主要港である東京、シンガポール、香港、上海、マニラの真ん中に位置し、この5つの主要港との所要時間は平均53時間であるという地の利を活かして、高雄港を、極東～北米、極東～欧州/地中海、極東～中東航路、極東～オセアニアのターミナルとして発展させようとしています。

高雄港を利用する国際的な船会社は、欧州航路と北米航路を接続するリレーハブとしての位置付けを明確にしており、各航路の二つの船が隣接したバースに同時に接岸し、コンテナヤードに積み荷を滞留させることなく積み替える、サイマルターニヤス・リレーも行われています。

加えて政府は高雄港のコンテナ港としてのハブ化を進めるため、基隆港、台中港、高雄港との間に限り、外国船会社にも国内コンテナ輸送を許可しています。

こうした取組みにより、2002年の高雄港のコンテナ貨物取扱量は、香港、シンガポール、釜山、上海に次いで、世界第5位となっています。

順位	港名	取扱量（単位：TEU）
1	香港港	19,148,000
2	シンガポール港	16,950,800
3	釜山港	9,037,308
4	上海港	8,612,000
5	高雄港	8,493,052

高雄港の歴史を見てみると、1856年に開港され、1908年日本の統治下で埠頭の整備が始まりました。

当初、南部の農・林産物資源の積み出し港としての機能が期待され、特に茶と砂糖の輸出で賑わいました。その後、戦前の日本の東南アジアへの経済進出に伴い、東南アジア航路の中継地としても重視され、さらに日中戦争の拡大と欧米列強との軋轢で戦時色が濃くなる中、南方進出の前線基地としての性格を帯びるようになりました。



高雄のガントリークレーン



高雄港海上視察

日本は軍需品や民生品の供給基地として高雄港周辺を工業地帯として整備し、ここに発電所、製鉄所、精油所、船舶修理用の工場などを建設して重化学工業を育成しました。この結果、1937年には台湾の総生産に占める工業の割合が農業を上回るようになり、同時に、軍港としての補給機能も重視されるようになりました。しかしながら、当時の高雄港は旗津半島に囲まれた内海のうち、蓬莱商港などごく一部の海岸線しか利用されていませんでした。

戦後、1958年から1970年の12年の歳月をかけ、高雄港の本格的な整備が始まりました。1966年には、湾内の一部を半島状に埋め立てた上に設置された高雄輸出加工区が正式にオープンし、高雄港は貿易港として飛躍的に発展する契機を得ました。輸出加工区の周囲は埠頭が囲む形で設計され、中島商港区として建設されました。中島商港区の一部は1976年に第一コンテナターミナルとして供用を開始しました。

また港の出入りの利便性を高めるため、旗津半島の付け根に近いエリアが1975年に第二港口の航路として掘られ、旗津半島は本土から切り離されました。第一港口は水深11m、幅100mで、3万トンクラスの船の航行が可能でしたが、第二港口は水深16m、幅148mで、10万トンクラスの船の航行が可能です。船の転回場所は第一港口、第二港口およびその中間の3カ所にあります。

その後、1980年に本土側の前鎮商港区に石油化学と第二コンテナターミナルからなる埠頭が、1982年に小港商港区に第三コンテナターミナル等からなる埠頭が、1985年に旗津半島側の中興商港区に第四コンテナターミナルからなる埠頭が建設されました。さらに第六期経済建設5カ年計画により、1995年に本土側の大仁商港区に第五コンテナターミナルからなる埠頭が整備され、現在に至っています。

高雄港務局では、高雄港について、アジア太平洋オペレーションセンター計画に沿った東アジアのハブ港を目指しており、将来の大型貨物船の就航に備えるため、第二港口の航路に沿って両側を埋め立て、左岸の埋め立て地には外海コンテナターミナルセンターⅠとⅡ、および多目的埠頭を、右岸の埋め立て地は大仁商港区を拡張し、その外側を、将来の港湾管理区域および工業区域として確保する計画です。この計画による埋め立て面積は、現在の高雄港の陸上港湾区域に匹敵します。埠頭は13を予定し、11の埠頭は水深18m、2つの埠頭は15,000TEUのコンテナ船が接岸できる水深20mを予定しています。

2003年コンテナ貨物取扱量

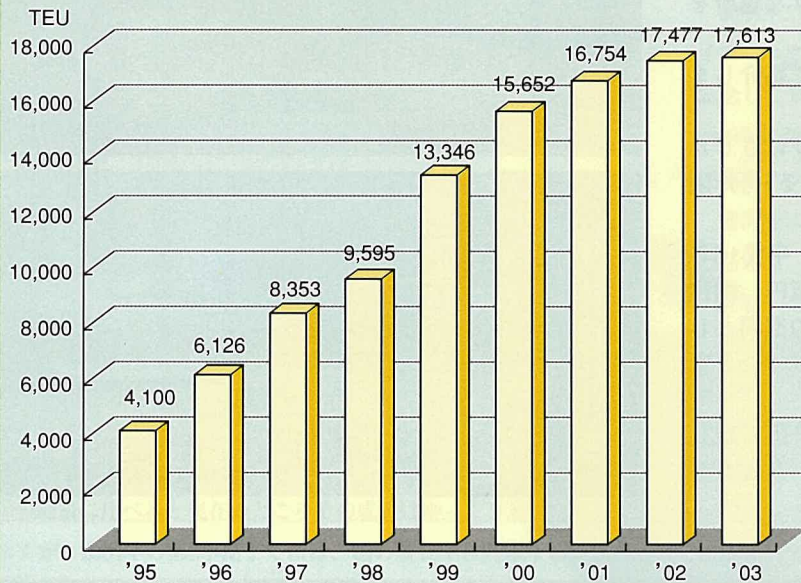
八戸港のコンテナ貨物取扱量は、年々順調に増加しており、2003年の取扱量（実入り）は、17,613TEUで対前年比1%増を記録しました。

主な取扱品目は、輸入ではタピオカ（紙のコーティング

等に使用）、製材、日用雑貨、輸出ではフェロニッケル、いか肝粉、亜鉛地金などが挙げられます。

特に中国・韓国航路の伸びが顕著で、八戸港全体の取扱量の40%を占める航路に成長しました。

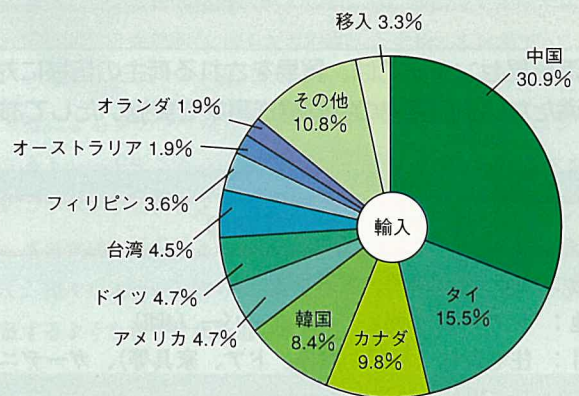
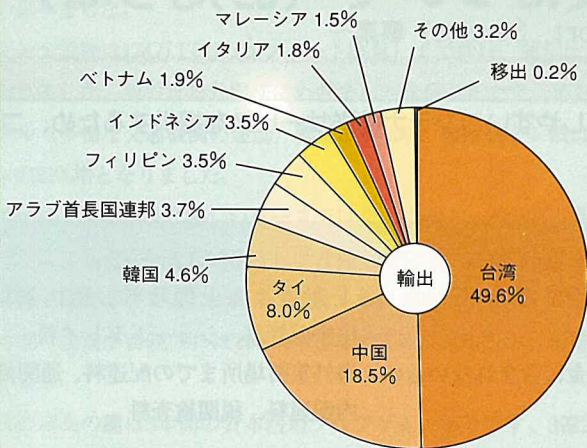
コンテナ貨物取扱量の推移



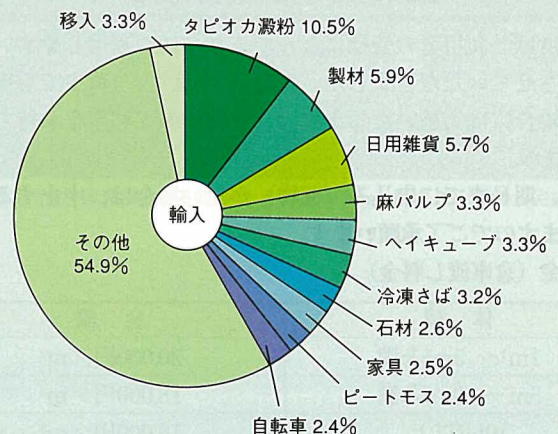
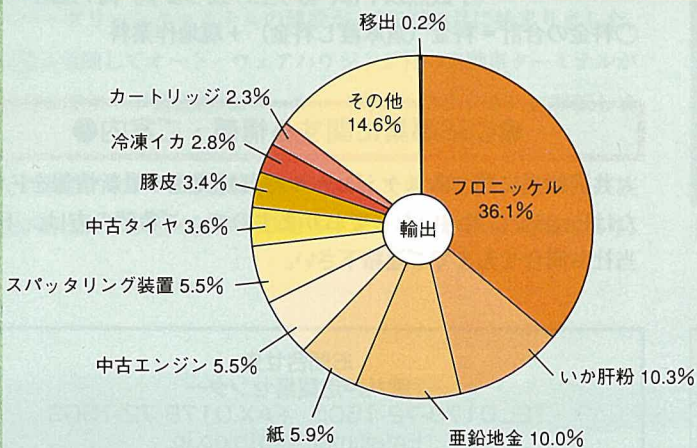
2003年の八戸港コンテナ取扱量

航路	単位TEU		総計
	輸移出	輸移入	
東南アジア航路	5,506	3,464	8,970
中国・韓国航路	1,129	6,499	7,628
北米航路	10	630	640
内航フィーダー航路	15	360	375
総計	6,660	10,953	17,613

国別コンテナ取扱数量



品目別コンテナ取扱数量





ポートアイランドは輸入促進地域事業の一環として設計された人工島です。そのポートアイランドの色々な場所を皆様にご紹介するコーナーです。

今回はポートアイランドに整備された緑地をご紹介します。

ポートアイランドに向かってシーガルブリッジにさしかかると、右手前方に見えてくるのが今回ご紹介する1号埠頭緑地です。

青森県によって平成元年より造成が進められ、平成15年10月に完成しました。総工費はおよそ10億3千万円、面積2.5haでポートアイランド入口を飾るシンボリック空間として、「海と空と暖かさ」をイメージした近代的デザインとなっています。

海に面した水際空間は、利用者が港湾空間と身近に親しめるように、八戸港を眺望できるオープンスペースとなっ

ており、先端部には展望施設を設置し、絶好のビューポイントとなっています。また、中央部のオープンスペースでは、自然に親しみながら利用できる広い空間があり、訪れる人々のレクリエーションの他、学校教育の場としての利用なども期待され、幅広い年齢層の方々にご利用いただけます。



八戸港コンテナ共同輸送事業について（お知らせ）

～八戸港CSS (Container Support Service) 事業～

㈱八戸港貿易センターでは、貿易をされる荷主の皆様に対して利用しやすいコンテナ輸送サービスを提供するため、コンテナ1本に満たない小口貨物の共同輸送事業を実施いたしております。

●2003年度の実施●

- 実施回数： 9回（北米航路、内航フィーダー）
- 積出地： シアトル（5回） バンクーバー（4回）
- 主要品目： 住宅資材（製材、窓枠、ドア、家具等）、ガーデニング用品・レンガ等
- 積載率： 平均36.4%

●2004年度の実施計画●

新年度は、利用者の皆様にとって、さらにご利用しやすい料金設定をさせていただきました。また、今年度も、1荷主でも申込みがある場合には実施いたしますので、皆様のご利用をお待ち致しております。

なお、期日までに申込み（荷物）が無い場合は、中止する場合がありますのでご了承願います。

○料金（倉庫渡し料金）

体積	金額
1m ³ ～5m ³ 未満	20,000円/m ³
5m ³ ～10m ³ 未満	18,000円/m ³
10m ³ 以上	15,000円/m ³

※小数点以下は、切り上げ致します。例：12m³→2m³

※料金に含まれるもの：海上運賃、海上保険料、国内通関料、入出庫保管料、ショートドレイ料

※料金に含まれないもの：海外集荷場所までの配達料、通関後の国内配達料、税関検査料

○現地作業料=@5,000円/m³

（小数点以下は、切り上げ致します。例：12m³→2m³）

○料金の合計=料金（倉庫渡し料金）+現地作業料

●CSS事業に関する情報・ご案内●

共同輸送に関するスケジュールや貿易関連の最新情報をFAXまたはEmailでご案内いたしておりますので、ご希望の方は、下記の当社お問合せ先までご連絡下さい。

お問合せ先
 ㈱八戸港貿易センター
 TEL.0178-72-1505 FAX.0178-72-1503
 Email:mail@hptc.co.jp

マレーシアで「青森ジャパンフェア（クアラルンプール）」開催される

去る1月9日から18日にかけて、マレーシアの首都クアラルンプールの伊勢丹デパートにおいて、青森県産品の販路拡大を目的に物産展「青森ジャパンフェア（クアラルンプール）」が開催されました。

同物産展では、チャイニーズ・ニュー・イヤー（中国の正月）が近いということもあり、中国系マレーシア人をはじめ多くのお客さんが来店し、売上げはたいへん好調でした。

物産展での今年の目玉は、初めて「餅つき」の実演販売を行ったことです。「餅」が受け入れられるか、また高い

値段の「餅」が売れるかどうか関係者に不安もありましたが、実演販売品目の中でも上位の売上げを達成し、一同ほっとしたところでした。これも実演者である大郷さんの経験と技の賜でしょう。

マレーシアでの物産展も今年で5回目ということもあり、一年一度の物産展を楽しみにしているお客さんも多く、遠いマレーシアの地に徐々に青森の味が浸透してきたことを実感しました。

通常取引も「ホタテ」を中心に毎年増加しており、今後幅広い産品の輸出が期待できそうです。



フェアの様子



餅つきの実演 大郷氏

第2回八戸地域洋上風力発電研究会開催

八戸港や沿岸域における風力発電の導入を目指して調査・研究を進めている「八戸地域洋上風力発電研究会」（会長 松坂知行八戸工業大学教授）主催の第2回研究会が1月21日、ポートアイランド内八戸港貿易センターにおいて開催されました。

研究会には行政機関、商工団体、研究機関、民間事業者、NPO等から約100名が参加し、現在進められている「八戸地域洋上風力発電導入可能性調査」について事務局から中間報告が行われました。報告において沿岸域の利用状況の説明や導入候補地の提案がなされましたが、出席者からは「採算性の検証をして欲しい」、「発電した電気を特区を活用して地域で使うようなモデルを検討できないか」といった意見が出され、活発な意見交換が行われました。

また、昨年10月に同研究会が会員を対象に実施したアン

ケート調査の結果が報告されましたが、建設にかかる問題点の詳細な検討や、特区を活用した新たなビジネスモデルの提案を求める意見が寄せられており、研究会の活動に関心の高さがうかがえました。

さらに、会員の方から提供して頂いたポートアイランドの11・12月の風況データを基に算出した、1年間の推測値が松坂会長から報告されました。推計では、地上60m高で毎秒5.7mであり、予想より低い値だが、年間の実測データを見てみないと可能性のあるなしは判断できないと報告されました。

今後は、導入可能性調査を取りまとめ、最終報告を3月中旬に行う他、八戸港内の風況についても報告がなされるとの事で、その内容が期待されます。



八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2004年3月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂いております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内308）までご連絡ください。

REPORT1

シンガポールの紹介



KDDIシンガポール
ディレクター
佐々木 康宏さん

今回はシンガポールの通信事情について報告いたします。シンガポールは、いち早く国家主導で港湾設備と共に通信インフラの整備を行い、情報都市国家として外国企業の誘致を進めてきました。

背景・通信施策・2000年市場開放

隣国マレーシア（マルチメディアスーパーコーリドール）および香港を意識し、通信面でもアジア

のハブ化を進めるため、1996年に5カ年計画を制定しました。その一環としてシンガポール全土に光ファイバーバックボーンネットワークを構築し、各企業および各家庭に対してブロードバンドの情報提供を行うSingapore Oneを導入しました。さらに、それまでシンガポールテレコム1社が国内および国際通信サービスを独占的に提供してきましたが、世界的な通信市場自由化に合わせ、計画を前倒しし、2000年に第2通信キャリアであるスターハブを設立すると共に、新規キャリアの参入を認めました。しかし市内網を持つシンガポールテレコムが、依然優位となっています。国土が狭いシンガポールにとって自分らが海外に進出するために相互開放政策を採らざるを得ないという事情が見え隠れしています。実際にシンガポールテレコムは、ベルギー、タイ、フィリピン、インドネシア、オーストラリアなど海外の通信会社へ積極的に投資を進め、そこから得られる利益は、全体の経常利益の20%以上を占めるに至っています。

従来型の電話サービスは低料金ですが、ブロードバンド通信など新しい通信サービスは、技術、設備とも海外に依存することから、日本と比べると導入時期は遅く、料金は全般に高いといえます。

電話料金

市内通話は平日日中で1分間約1円、夜間休日で1分間約0.5円です。国

際通話も日本宛が1分間約60円、格安電話で1分間約30円となっております。日本に比べて半額以下の料金となっておりますが、これは、国土が狭く設備費がかからないこと、また人件費が安いことによるものと考えられます。

携帯電話GSM

シンガポールはほかの東南アジア諸国と同様にヨーロッパの携帯電話方式であるGSMを採用しており、海外ローミングに優れます。一方、日本のような情報（コンテンツ）提供、電子メールはほとんど普及していません。但し、ショートメッセージ（SMS）が普及しており、特に若者たちは日本と同様に親指操作に優れています。日本は、電車内での電話は禁止されていますが、シンガポールでは制限はありません。

ブロードバンドADSL

利用可能なブロードバンドは、ADSLとケーブルTVの二種類です。ファイバーツーザホーム（FTTH）は導入されておられません。ADSLは上り256k下り512kが一般的であり最近ようやく上り512k下り2Mが利用可能となりました。ケーブルテレビは1.5Mに3Mが追加となりました。日本のような数十Mの高速アクセスが導入されるのは大分先となるでしょう。



「中心街を見下ろし高くそびえるシンガポールテレコムの本社ビル」

おわりに

シンガポールは、アジアの通信ハブを目指し、周辺国に先駆けてインフラの整備、市場開放を進めてきました。世界的な経済不況の中でも安定した発展を遂げているシンガポールに見習うところは大きいと言えるでしょう。



タコマ・ピアスカウンティ
商業会議所
(米国ワシントン州)
マネージャー
ゲリー・ブラケット さん

タコマ都市部における経済は2002年の第2四半期に景気後退が終息して以来、回復し続けております。まだ2003年の数字は手に入らないのですが、ピアス郡経済指標によれば2003年は前年比1.65%増になると予測しております。

雇用状況は芳しくはありませんが、タコマピアス郡はワシントン州の都市部の中でも唯一2003年に雇用を拡大しました。地方経済の明るい話題として住宅建設とタコマ港も挙げられます。

地方経済は2004年いっぱい回復が続けると予測されています。地方経済は国の経済に比べると現在のところその成長はゆっくりとしたものではありますが、2004年の第2半期までには、国の成長率に匹敵するであろうと期待されております。

2003年はタコマ港にとって、投下資本と貨物取扱量において記録すべき年でありました。

コンテナ貨物は174万TEU (20フィート換算) まで伸び、前年比18.2%増となりました。他の貨物も同様にめざましい成長ぶりです。インターモーダル (多様な交通機関の連携) 輸送は29%増、総積載トン数は1,744万トンの21%増となりました。

港湾局は、2003年ほど激しいペースではないにせよ、2004年も新たな飛躍の年になると期待しています。最新の予測によれば2003年の成長率3%に対して2005年まで近い成長率で続くものと思われれます。タコマ港湾局は計画・投資が持続すれば2006年には2桁成長に戻るものと期待しております。

港湾の成長の鍵は5年間の資本活用プログラムにあります。3億2千万ドルのブレア水路関連事業の手始めに2003年に1億600万ドルが投じられました。タコマ港の歴史上最大の開発プロジェクトである2億1千万ドルのエバーグリーンターミナルの建設が、2003年8月に始まりました。この開発に追隨してオート・ウェアハウジング社の自動車ターミナルが4,000万ドルでヤード面積約146エーカー (約60ヘクタール) に移転しました。

ブレア水路プロジェクトを推進するため、タコマ港とピュアラップ族と協定が結ばれました。種族のエメラルドクイーンカジノの移転により、

港湾産業地域におけるタコマ港湾と種族の土地が共同売買できるようになり、種族たちにとっても州間高速道路に隣接する地にカジノ・リゾート施設を建設できるようになりました。

2003年7月初め、港湾局はTOTE社 (トータムオーシャンアンドトレイラーエクスプレス社) の可動橋棧橋の拡張工事を終わりました。拡張を記念してTOTE社のアラスカ行き新造船二船が寄港しました。二船は2003年に新しく投入され、600台のトレーラーと275台の自家用車が収容可能でタコマ港からアンカレッジ港間を週2便で運行します。

港湾局によるとEast "D" Streetの陸橋、FAST Corridor プロジェクト、水路浄化、Gog-le-hi-te 湿地のような建設、輸送、環境プロジェクトに2004年、1億9千5百万ドルの予算を予定しています。

タコマ港の外での最も重要な建設事業は2003年着工の第二Tacoma Narrows Bridgeです。既存の橋同様、この8億4千9百万ドルのプロジェクトは5年半を要し、2007年に供用を開始します。その他既存の橋の改修を2008年には終了する予定です。

新しいつり橋は既存の橋の南側から建設中です。橋の両側につながる道路も3.4マイル (約5470m) 改修されています。この建設により2020年までに12万人の利用客と貨物輸送の需要に応えることができるようになります。

局地的には、タコマとその都市部においては成長しつづけております。ワシントンタコマ大学の拡張工事は4100万ドルを投じたマットレス工場の修復工事と合わせてほぼ終了しました。8,040万ドルのタコマライトレールは2010年乗車率を1日あたり2,400人と予測しています。

ビジネス街では、近隣のレイニア・パシフィック銀行本社、マリオット社によるカントリーヤード、グレーター タコマ コンヴェンション&トレードセンターは、日々成長しています。9,000万ドルの6,8320m²のコンベンションセンターは2004年の終わりにオープン予定です。

タコマはもはやひとつのプロジェクトで経済的發展を目指すのではなく、様々な実現の連なりによって、市民にとって活気みなぎる経済を保証するような将来計画を追い求めています。



タコマ港東ブレア水路における350エーカー (約417km²) 巨大ターミナルの完成予想図

八戸港の貿易概況報告 (2003年1月～12月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

<概況>

輸出額の主な品目別では船舶機構・鉄鋼製品、一般機械等が好調により激増(歴代第1位)。主な仕向国別に見ると台湾が212億8,395万円(51.2%増)、韓国が148億5,290万円(44.8%増)で好調であったがシンガポール6億316万円(11.6%減)インドネシア3億9,280万円(4.5%減)と不調であった。輸入額の主な品目別では、とうもろこし、ニッケル鉱、大豆粕等好調。仕出国別に見るとアメリカ259億3,717万円(13.6%増)中国140億1,753万円(10.1%増)と好調に推移したが、チリ72億2万円(15.6%減)オーストラリア66億5,430万円(5.0%減)と不調。尚外国船入港隻数は歴代2位の566隻(前年比23隻減)を記録。

平成15年1月～12月の貿易額 (単位：千円)

※八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	13	11,507,480	162.5%	161.5%
フェロニッケル	MT	101,592	19,246,653	91.3%	111.7%
有機化学品	KG	1,644,745	973,094	108.7%	98.7%
紙 製 品	MT	4,639	518,215	92.1%	113.6%
一 般 機 械	MT	2,756	1,221,395	82.8%	142.9%
鉄 鋼 製 品	MT	37,859	1,595,381	95.6%	145.5%
飼 料	MT	9,693	508,171	103.1%	99.1%
魚 介 類	MT	5,149	506,650	87.3%	58.6%
亜鉛塊	MT	13,368	1,242,434	129.4%	122.1%
そ の 他			26,506,336		373.6%
計			63,825,809		171.4%

●コンテナ分取扱実績 () 内前年比

輸 出	407億7192万 (188.7%)
輸 入	290億3124万 (135.4%)

●コンテナ貨物通関本数 () 内前年比

輸 出	6,717TEU (93.4%)
輸 入	11,316TEU (107.7%)
合 計	18,033TEU (101.9%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	814,520	12,593,960	104.6%	97.2%
とうもろこし	MT	878,024	13,834,438	109.3%	117.0%
ニッケル鉱	MT	2,214,081	9,800,167	90.3%	108.9%
木 材	CM	119,876	2,732,144	89.6%	90.8%
亜鉛塊	MT	157,384	3,930,121	97.3%	100.2%
大豆粕	MT	196,980	5,856,111	100.1%	107.6%
魚 介 類	MT	13,646	5,516,787	92.4%	94.7%
飼 料	MT	55,563	1,505,650	33.1%	61.2%
石 炭	MT	723,965	3,290,385	81.3%	81.2%
こうりゃん	MT	202,782	3,405,515	86.3%	95.5%
ウッドパルプ	MT	25,640	1,387,381	105.5%	110.2%
カオリン	MT	120,053	2,361,657	74.0%	70.9%
肥 料	MT	12,916	273,779	73.8%	63.7%
重 油 等	KL	70,819	1,820,373	89.5%	99.6%
コークス等	MT	117,413	1,886,942	131.5%	189.3%
鉛 鉱	MT	70,679	1,657,116	119.7%	115.3%
金属製品	MT	3,251	904,448	78.9%	106.7%
その他穀物	MT	23,698	330,263	89.6%	79.3%
糖 蜜	MT	8,297	68,232	162.5%	123.5%
そ の 他			27,414,787		87.3%
計			100,570,256		96.7%

好調な2003年の 食品輸出

日本貿易振興機構 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

海外での日本食ブームを背景に食品輸出が東アジア向けを中心に増加した。2003年の貿易統計(速報値)によると食料品輸出は前年比7.1%増の23億358万ドルを記録した。中でも魚介類・同調整品が9億1,005万ドル(17.8%増)、果実7,201万ドル(35.5%増)と輸出を牽引した。

うなぎは前年比28倍の652万ドルに急増したほか、サケ、カツオ、カニ調整品が倍増した。ほたては国内生産量増大を背景に単価は3割ほど下がったが、輸出量は8,950トンと倍増したため、輸出額も1億432万ドルと46%の増加を示した。

りんごは81%増の3,785万ドルを記録し、果実輸出に占める割

合は52.6%を占め、輸出量も10,210トンから16,790トンに拡大した。台湾向けが94%を占めるが、台湾貿易統計によると日本産の輸入シェアは2001年3.9%、2002年14.2%、2003年(1～11月実績)20.5%と米国産のシェアを奪う形で急拡大している。

いちごの輸出額は15万ドルと小額だが、台湾、香港向け輸出が急増しており、前年の4,481キログラムから10,880キログラムと2.5倍となった。

飲料では日本酒輸出が21.1%増の3,404万ドルと好調を示したが、ビールは現地生産化が進展し、41%減となった。

【日本の食料品輸出】

	2002年 金額	2003年 金額	伸び率 (%)
食料品輸出額	2,151	2,304	7.1
魚介類・同調整品	773	910	17.8
穀物・同調整品	226	231	2.3
果物	53	72	35.5
野菜	61	58	▲3.6
飲料	144	133	▲7.3

<出所>日本貿易統計



AIRA会員紹介

今回は㈱ビースをご紹介します。

平成3年に創業し、一昨年10周年を迎えました。活動拠点を八戸のほか函館に設置し、北東北から北海道まで、広域の活動を展開しています。住宅事業部のほかマンション事業部も備え、共に輸入住宅を中心とした物件を手がけています。ブランドとしては北米スタイルのNewEnglandHomeのほか、昨年からはヨーロッパスタイルのInterDecoHausを展開しています。

NewEnglandHomeは、北米のニューイングランド地方をイメージとして設計され、日本建築にない個性を主張する佇まいが印象的です。また、InterDecoHausは、フランス、スペインなどヨーロッパ各国の住宅デザインからフルオーダーまで、幅広いバリエーションを持ち、工法、設備による高機能化で多様化する顧客のニーズに対応しています。



株式会社 ビース

ビース函館

〒040-0011北海道函館市本町30-9

[パラッツィ本町1F]

TEL.0138-56-0555 FAX.0138-56-0777

ビース八戸

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9

[八戸港貿易センタービル4F]

TEL.0178-72-1513 FAX.0178-72-1514

メール：info@beus.jp

創業：1991年7月

資本金：1,000万円

代表者名：代表取締役 青島 康夫

- ・建設業許可番号/青森県知事(般-12)第15086号
- ・宅建許可番号/青森県知事(4)第2476号
- ・(社)青森県宅地建物取引業協会会員
- ・東北地区不動産公正取引協議会加盟
- ・(社)日本ツーバイフォー建築協会会員

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加(自己負担あり)ができる。



AIRA: 青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社斎藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ビース	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グットワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テオー小笠原	青森市東道道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	5	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャバン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

大型浚渫(しゅんせつ)兼油回収船「清龍丸」八戸港で最後の訓練

国土交通省の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」(約3,500トン)が、去る3月5日に八戸港へ入港し、八戸沖で現役最後の油回収訓練を実施しました。

6日は、船内の一般公開も行われ、雪が降りしきるなか、市民らおよそ500人が見学に訪れました。

同船は、昭和53年に建造されて以来、日本最大の大型油回収船として多くの事故現場に出勤してきました。最近では、平成9年の日本海の「ナホトカ号」重油流出事故で活躍しました。

災害出動時以外は、全国の主要港で訓練を行ってきましたが、近年老朽化が進み、今回の八戸港沖での訓練を最後に勇退することとなっています。



▼船内一般公開の様子

▲大型浚渫(しゅんせつ)兼油回収船「清龍丸」



編集後記

1月に「はやて国体」が開催されました。各競技熱戦が繰り広げられましたが、成年のアイスホッケーの試合を観戦した人が「こんなにアイスホッケーを見に来る人がいると思わなかった」と言っていました。準決勝で地元青森県が北海道を破り、決勝が日曜日だったことあるのでしょうか、あまりの混雑に人に酔うほどだったそうです。そして続けた言葉が「こんなに見に来てくれるなら、社会人の普通の試合の時も来てくればいいのね。」「サッカーのワールドカップの時もそんな話があったね」と、笑っていました。それが人間心理というものなのでしょうが、「氷都」と言われる八戸。皆さんも機会があれば一度観戦にてかけてみてはいかがでしょうか。その際はくれぐれも防寒準備は忘れずに。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内

TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp